NO.1

ミッション名

人と地域を心地よくつなぐ移住コーディネーター

募集人数

1人

活動地域

西予市内全域

地域の概要

愛媛県西予市は、海・里・山がひとつの市内に広がる豊かな自然環境に恵まれたまちで、多彩な地域資源を有しており、四国西予ジオパークとして認定されています。

市内は、明浜・宇和・野村・城川・三瓶という歴史や風土の異なる5つの町で構成されています。それぞれの町には、代々大切に受け継がれてきた伝統行事や独自の食文化、伝統的な建物、美しい農村風景、美しい山並みがあり、それぞれに温かく人情味あふれる住民の暮らしが根付いています。

西予市内には、27 の地区に分かれ、それぞれの地域が主体となって外部人材の受入や地域づくりに取り組んでいます。

地域の課題

一般社団法人西予市移住定住交流センター（愛称：せいよクラス）は、令和2年に設立し、地域内外をつなぐ中間支援組織として機能してきました。地域インフラとして不可欠な役割を担えるようになってきた結果、事業が高く・拡大化しています。

一方で、市内外への広報や現場に入り込んで住民や移住希望者とじっくり対話する「聞き手・バランサー」としての現場プレイヤーが物理的に不足している。 法人の設立期を経て安定・拡大期を迎える今、組織的・持続的な運営体制への移行が求められています。

また、27 地域ごとに外部人材の受け入れ意識や目指す地域の在り方が異なるため定期的に情報を集約更新する必要が生じています。

それらのことから、以下のような課題に直面しています。

〇地域のリアルな情報集約と発信が追いついていない

5 町 27 地区に点在する地域ならではの魅力や現場の課題を細かく集約・更新する仕組みが確立されておらず、人と人をつなぐハブとして機能できていない状況です。

また、Web や SNS 等を活用した「西予市のファンづくり」に繋がっていません。

〇移住者への定住フォロー（伴走支援）が不足している

移住前の相談やマッチングにとどまらず、移住後の不安解消や地域定住に向けた丁寧な伴走フォロー体制を十分に提供しきれていない状況です。

〇法人の持続的な運営体制が未確立（属人化と後継者不足）

業務やノウハウが特定のメンバーに集中しており、地域の声（空き家・教育等）を拾い上げて移住者と共創するプロジェクトへ落とし込む、現場コーディネーター(次の担い手)の計画的な育成が急務となっています。

協力隊に期待する役割

移住コーディネーターとしての実務経験を積み、地域の人との関わりを重ねながら、既存事業の改善や新たな取り組みを生み出し、人と人との出会いを地域の活動や新たな担い

手づくりにつなげられる人材へ成長することを期待します。
　自身の移住経験を活かし、移住希望者と地域をつなぐだけでなく、地域の人と一緒に地域の魅力や課題を見つめ、これからの地域のあり方をともに考え、移住促進を地域づくりの手段として実践していく役割を担っていただくことを期待します。
【主要業務】
◎地域、事業所、市民とのつながりづくり
◎ＳＮＳやＨＰ等を活用した情報発信
◎移住希望者からの相談対応 （移住フェア、対面、電話、メール、オンライン等） ・地域情報や暮らしに関する情報収集・提供 ・移住希望者の現地案内及び移住体験時のサポート
◎空き家バンクや不動産業者等と連携した住まい探し支援
◎仕事さがし支援、就業支援（職業紹介事業等)、起業支援、就農支援
【付随業務】
・地域住民や関係団体との調整及びマッチング支援
・移住体験ツアーや交流イベント等の企画・運営
・移住者の定住に向けたフォローアップ
・移住者同士や地域住民との交流機会創出
・地域課題や移住ニーズの把握及び提案
・西予市移住定住交流センターの運営及び事業推進に関する業務
・その他、移住定住交流促進に必要なコーディネート業務

協力隊にもとめる人物像

- 人と接することが好きで、移住希望者や地域住民に寄り添ったコミュニケーションができる方
- 地域の情報収集に努め、その魅力や課題を自ら発掘し、関係者と連携しながら主体的に行動できる方
- 任期終了後も西予市に定住する意欲を持ち、西予市への移住定住の取り組みに継続して関わる意思のある方

※特に、空き家問題や地域ならではの教育、地域づくりに関心がある方を求めています。
　さらに、皆で段取りよくプロジェクトを進めていく為の進行管理の得意な方は大歓迎です！

3 年間の活動イメージ

【1 年目】
　移住相談・住まい・仕事・地域資源等の基礎を学び、先輩コーディネーターとともに相談対応や現地案内等の実務を経験していただきます。市内の地域関係者づくり組織などの団体との関係を構築します。
【2 年目】
　移住コーディネーターとして主体的に相談対応等を担うとともに、既存事業の改善や新たな事業を企画・実践します。
【3 年目】
　移住コーディネーターとして必要な知識・経験を身につけ、一定の業務を自立して担える状態を目指していただきます。任期後の継続的な活動・就業を見据え、法人との関わり方や事業・ポジションを具体化します。

協力隊の任期後のイメージ

　活動を通じて移住コーディネーターとしての専門性を身につけ、移住希望者や地域外の人との出会いを地域の新たな活動等の地域づくりにつなげられる人材となることを期待

しています。
　任期終了後は、本人の適性や意向、法人の事業・財政状況等を踏まえ、移住コーディネーターとして業務を担うとともに、地域の人とのかかわりの中で、地域に変化を仕掛けられる人材として継続して「せいよクラス」の一因として活動できる人材となることを期待します。

活動や暮らしのサポート体制

　「せいよクラス」の事務局長を受入担当者とし、「せいよクラス」事務所を活動拠点とします。
　住居を一緒にお探ししたり、市内や近隣市町をご案内するなど、着任時当初のサポートはもとより、普段の活動に対する指導助言など、活動期間はスタッフ全員でサポートします。

協力隊を希望するひとへのメッセージ

　「せいよクラス」は、UI ターンの地域おこし協力隊 OB・OG や地域活性化企業人、地元大学教授、行政職員など多様なメンバーがプレイヤーや理事として関わり、愛称のとおり「一つの屋根の下」で暮らし、学び、交流しながら運営しています。あなたもその屋根の下で、自分らしさを存分に活かしながら一緒に楽しく働きませんか？皆様からのエントリーを心からお待ちしています！